# タイヤを上手に使っていただくために

## 危険防止のために

### 空気充填

⚠危険 ○破裂時の危険を避けるため、タイヤを安全圏いの中にいれる等、安全措置を講じた上、空気を充填してください。
○パンク修理したタイヤに空気を充填する際は、頭部を保護する措置(ヘルメット等の装着)及び眼部を保護する措置(ゴーグル等の装着)を講じることを強く推奨します。
注)上記は小形トラック用タイヤ、トラック及びバス用タイヤに適用。
⚠危険 ○空気充填時または充填後タイヤサイドウォール部からの異音が聞こえたら、ただちに作業を中止し、避難してください。
⚠警告 ○自動車用タイヤの組み立て時のビードシーティング圧は、300kPa (3.0kgf/cm²) とし、これを超える圧は注入しないでください。ビードシーティングとは、タイヤ組み立て時にタイヤの両側のビードがリムのビードシート部に周上均等にのった状態(ハンプ付きリムは、ビードがハンプを越えた状態)をいいます。
注)Tタイプ・折りたたみ式応急用タイヤ、ランフラットテクノロジー採用タイヤ(エクステンディッドモビリティタイヤ)、その他製造業者の指定がある場合にはそれに従ってください。
○ビードシーティング圧を上限として空気を注入し、タイヤの両側のビードがリムのシート部に周上均等にのっていること(均等にのっていない場合はいったん空気を抜き、タイヤをリムから外してタイヤ、リム等に異常がない事を確認し、ビードおよびリムに潤滑剤を再度塗布する)を確認した後、使用空気圧に充填または、調整してください。なお、Tタイプ・折りたたみ式応急用タイヤ、ランフラットテクノロジー採用タイヤ(エクステンディッドモビリティタイヤ)、その他製造業者の指定がある場合にはそれに従ってください。

### タイヤの傷

⚠危険 ●コードに達している外傷・ゴム剥れのあるタイヤは、使用しないでください。タイヤが損傷し、事故につながるおそれがあります。修理が可能か否かについてはタイヤ販売店等にご相談ください。

## 安全維持・性能維持のために

### タイヤ選択時の注意

●自動車製作者が指定した標準タイヤまたはオプションタイヤの使用を基本とし、その他のタイヤを選定される時はタイヤ販売店等にご相談ください。
●積雪または凍結路では、冬用タイヤを全車輪に装着してください。夏用タイヤ(ノーマルタイヤ)は、積雪または凍結路において、冬用タイヤに比べて制動距離が長くなります。また、冬用タイヤは全車輪に装着しないと挙動が安定しません。尚、冬期が過ぎたら一般路(乾燥路・湿潤路)走行に適した夏用タイヤに交換することを推奨します。
●全車輪とも、同一のサイズ、種類、構造、カテゴリー*のタイヤを使用してください。但し、自動車製作者またはタイヤ製作者による個別の指示がある場合は、その指示に従ってください。
※カテゴリーとは夏用タイヤ、冬用タイヤ等をいいます。特に四輪駆動車はご注意ください。
⚠警告 ●サイズ、種類、構造、カテゴリーの異なるタイヤを同一車軸に使用すると、タイヤ性能が異なるため、車の安定性を損ない、事故等につながるおそれがあるので混用しないでください(応急用タイヤは除きます)。
○チューブ、フラップは、タイヤサイズと同一サイズ表示のあるものでバルブは車両およびホイールに適合するものを使用してください。
○新品のチューブタイプのタイヤには、新品のチューブ、フラップを使用してください。
○新品タイヤを装着するとき、チューブレスタイヤには新品のチューブレス用バルブの使用を推奨します。
●ホイールの選定は販売店等に相談し、タイヤサイズおよび車両に適合したホイールを使用してください。また、チューブレスタイヤには必ずチューブレス用ホイールを使用してください。

### 異物・傷の点検

○ホイールには、亀裂、変形等の損傷や著しい腐食がないことをご確認ください。
●タイヤに亀裂がないか、または釘、金属片、ガラス等が刺さっていたり、溝に石その他異物を噛み込んでいないかご確認ください。異物を発見した時は、タイヤ販売店等にご相談の上、取り除いてください。

### ならし走行

●新品タイヤや新しいタイヤはサイドウォール部からの異音が聞こえたら、ただちに作業を中止し、避難してください。
⚠警告 ●新品タイヤ装着時または充填後タイヤサイドウォール部からの異音が聞こえたら、ただちに作業を中止し、避難してください。
●新品タイヤや新しいタイヤは